

歯科保存学講座う蝕治療学分野

1. 教室の歴史

歯科保存学第一講座は、1965年の歯学部の創設以来、歯科研究所教授として石橋真澄が主宰していた保存学教室に端を発する。その後、昭和1973年4月の講座制施行により、石橋教授が歯科保存学第一講座初代教授に就任した。東北大学講師の久保田稔が非常勤講師を委嘱され、実習と講義の一部を担当した。1981年に筑波大学より久保田が教授として赴任した。これに伴い、保存修復学を久保田教授が、歯内療法学を石橋教授が担当することとなった。

1985年、石橋教授が第82回日本歯科保存学会を大会長として主催した。1991年、石橋教授は定年退職し、名誉教授の称号を授与された。以後、久保田教授が保存修復学と歯内療法学の二教科を担当した。1992年、工藤義之が東北大学より助教授として赴任した。1997年、寺田助手が嘱託講師に昇任した。1998年、日本歯科保存学会の第108回大会を、大会長久保田、実行委員長寺田により催した。1998年、寺田嘱託講師が講師に昇任した。2000年には「岩手県南米移住者子弟人材育成事業」として、パラグアイから千葉美和を本学で受け入れた。歯科医療の研修の一環として当講座にて臨床見学および講義の聴講を行った。2003年、歯科医師臨床研修の必修化に向けて発足した総合歯科（総合診療室）に、中島薫助手が出向した。その後、2014年に柳谷助手、2015、2016年は工藤助教授、熊谷浩助手、岡田伸男助手が出向し、臨床研修医の教育に当たった。2004年、大学院を修了した諏訪部武は、口腔生理学の北田泰之教授の指導を受けた研究と手法がアメリカミシガン大学のブラッドレー教授に認められ、ポストドクの職を得た。諏訪部は、現在も同大学のバイオマテリアル教室に在籍し活躍中である。2006年中島助手が嘱託講師に昇任した。2007年、寺田講師が嘱託准教授に昇任した。

ハイテクリサーチセンター整備事業（1999～2003年）に、久保田教授、工藤助教授、寺田講師が参加し、石膏系材料、レジン系接合材に関する研究を行い、英論文8編、和論文9編、学会発表38件の業績を残した。2007年、組織学の原田教授を中心とする難治性歯科疾患克服に向けたセルセラピーの基盤構築と歯科の育成をテーマとするオープンリサーチ（2007-2012年）に久保田教授、寺田嘱託准教授、遠藤助教が参加し、歯牙再植後の歯根吸収の抑制のため骨吸収抑制剤ビスホスホネートなどの薬剤の応用について研究を行った。

2010年10月北海道大学より野田守教授（総合歯科学講座 総合歯科教育学・保存修復学分野担当）が赴任した。2011年、講座再編により、歯科保存学講座 う蝕治療学分野（保存修復学・歯内療法学担当）となった。2012年、歯内療法領域の顕微鏡下での治療環境整備として、手術用顕微鏡ならびにモニターを総合歯科外来に設置した。モニター利用により、処置を受ける患者の方々や見学学生に分かり易く、またCBCTを利用した正確な診断のもと、歯根端切除術もよりの確に行うようになった。

循環器センターからの術前口腔内精査依頼件数の増加や、有病高齢者の受診者数増加に伴い、中居教授（歯科内科）の協力のもと、全身状態に配慮した歯科治療を効率的に行えるよう医局カンファランスを整備した。現在は、中居教授、千葉教授、外来衛生士で周術期症例を中心に症例検討を行っている。また、放射線科（有賀教授）、頭頸部外科（志賀教授）とも連携し、頭頸部悪性腫瘍カンファランスに医局員、歯科衛生士が参加し周術期口腔管理体制の充実化を図った。2016年、野田教授が歯科医療センター長に就任した。2017年、第147回日本歯科保存学会を「周術期口腔機能管理における保存診療」をテーマとして盛岡にて開催した。

研究活動においても、従来の専門領域である

歯科保存学会，歯内療法学会での「歯科材料の生体親和性を中心とした研究発表」に加え，有病者歯科医療学会（2013，2014，2015，2016年），口腔ケア学会（2018年）では周術期医療に関する研究テーマでの発表を行うようになった。さらにInternational Association for Dental Research（2013，2014，2015，2016，2017，2018，2019年），European Society of Endodontology（2016年），Academy of Dental Materials（2015，2016，2018年）などの国際学会においても積極的に発表を行うようになり，国際水準での情報発信を行うようになった。

3. 人事（2019年1月現在）

教授	野田 守
准教授	工藤 義之
講師	浅野 明子
講師	岡田 伸男
助教	千田 弥栄子
助教	志賀 華絵
助教	長谷部 智之
助教	菅 徹也
研究員	熊谷 啓二
研究員	土田 慎子
研究員	櫻井 秀人
研究員	八木 良輔
研究員	伊藤 雅之
研究員	西島 龍太郎
研究員	石川 寛夫

大学院生 青木 貴晃
 大学院生 清水 峻介
 研究捕手 秋村 清香

4. 最近 10 年間の業績

学術論文・症例報告

- ・浅野明子：義歯の破折を繰り返す患者に対し補綴処置を行った1症例. 日本補綴歯科学会誌. 第6巻2号 204-207. (2014)
- ・A Cohort Study on the relationship between Temporomandibular disorders and Egogram : Akiko Asano, Norimasa Tanabe, Kiyotaka Kanemura, Tsutomu Kudo, Kazuhiko Suzuki, Mamoru Noda, Ishibashi Kanji, Masanori Fujisawa
 Vol31, No1, 11-17. June, 2016 J. Society Of Psychosomatic Dentistry
- ・志賀華絵*, 浅野明子*, 齋藤裕美子, 櫻井秀人*, 長谷部智之*, 菅 徹也*, 伊藤誠之*, 八木亮輔*, 野田 守* : 二酸化チタン光触媒併用漂白材と高濃度過酸化水素漂白材における生活歯漂白の効果と色調後戻りに関する研究, 岩医大歯誌 42 61-70 2017

招聘講演

工藤義之：シンポジウム 超高齢社会における医療の中核を担う歯科医師の養成 医歯薬3学部合同ワークショップ：日本口腔科学会総会 2018. 7月名古屋市



国際学会発表

- ・ Nobuo Okada, Hanae Shiga, Hideto Sakurai, Tomoyuki Hasebe, and Mamoru Noda : Properties of chemical polymerized resin containing S-PRG filler. IADR General Session and Exhibition (June 25-28, 2014) (Capetown, South Africa)
- ・ Mamoru Noda, Nobuo Okada, and Hanae Shiga : Radicals To Polymerize Resin Composites Induce Apoptosis In THP-1 Monocyte. 2014 IADR/PER Congress (September 10-13, 2014) (Dubrovnik)
- ・ Ryosuke Yagi, Hanae Shiga, Nobuo Okada, and Mamoru Noda : Effect of Phosphoric Acid Etching on Tensile Bond Strength of Universal Adhesive to Repair Ceramic Restoration. IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition (March 11-14, 2015) (Boston, Massachusetts)
- ・ T. Kan*, N. Okada, R. Yagi, M. Ito, H. Shiga & M. Noda : Sealing ability of chemical-cure versus dualcure dentine bonding systems in resin cores. European Society of Endodontology.2015..9.16 ~ 19 Barcelona
- ・ M. Ito, N. Okada, H. Shiga, H. Sakurai, T. Kan, M. Noda : Tensile bond strength of universal adhesives to repair ceramic restoration. Abstracts of the Academy of Dental Materials Annual Meeting. 2015.10.7 ~ 10 Hawaii, USA
- ・ amoru Noda, Hanae Shiga, Nobuo Okada, Mr. Ryosuke Yagi, Masayuki Ito, Tetsuya Kan, and Akiko Asano : The difference of bleaching effect between TiON and Opalescence in vivo. AADR/CADR Annual Meeting. 2016.3.16 ~ 19 Los Angels
- ・ M. Ito, N. Okada, H. Shiga, H. Sakurai, K. Tetsuya, Y. Ryousuke and M. Noda : Effect of thermal cycle stress on universal adhesive systems. Academy of Dental Materials Annual Meeting (October12-15, 2016, Chicago, USA)
- ・ T. Hasebe, H. Shiga, Y. Kudo, M. Noda and K. Nakai : Influence of electronic apex locators and ultrasonic apparatus on implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator. IFEA the 10th World Endodontics Congress (June 3-6, 2016, Cape Town, South Africa)
- ・ Hanae Shiga, Nobuo Okada, Masayuki Ito, Ryosuke Yagi, Akiko Asano and Mamoru Noda : Water susceptibility of restorative glass ionomer cement during early setting. IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition (March 22-25, 2017, San Francisco, Calif. USA)
- ・ M. Noda*, N. Okada, M. Ito, R. Yagi, H. Sakurai, H. Shiga, A. Asano : Effect of prolonged-storage on tensile bond strength of adhesive systems.Academy of Dental Materials Annual Meeting, 2017/10/7,Nuremberg, Germany
- ・ Noda Mamoru, Yagi Ryosuke, Shiga Hanae, Asano Akiko, Sakurai Hideto, Okada Nobuo, Shimizu Shunsuke : Tensile Bond Strength of Chemical-cure Adhesives to Enamel and Dentin : IADR General Session and Exhibition : July25-28 2018 London
- ・ H.Sakurai, T.Hasebe, H.Shiga, N.Okada, Y.Kudo, M.Noda : Water susceptibility of restorative glass ionomer cement during early setting : Korean Academy of Conservative Dentistry : November 09-10 2018 South korea

国内学会発表

- ・ 遠藤寛, 田邊憲昌, 金村清孝, 浅野明子, 武部純, 近藤尚知 : 日中と夜間のブラキシズムの関係. 第122回日本補綴歯科学会学術大会. 2013.5.18. ~ 9 福岡
- ・ 田邊憲昌, 金村清孝, 浅野明子, 小林琢也, 織田展輔, 岡田伸男, 佐々木大輔, 野村太郎, 高橋徳明, 水川卓磨, 伊藤茂樹, 大川義人, 佐藤和朗, 工藤義之, 八重柏隆, 野田 守, 城 茂治, 杉山芳樹, 永井成美, 三浦廣行 : Comprehensive Careの理念に基づいた歯科臨床教育改革 ~岩手医科大学における学生診療室の設立~. 第32回日本歯科医学教育学会総会・学術大会. 2013.7.12 ~ 13 札幌

- ・浅野明子, 田邊憲昌, 金村清孝, 小林琢也, 岡田伸男, 織田展輔, 水川卓磨, 伊藤茂樹, 大川義人, 佐々木大輔, 野村太郎, 杉浦剛, 澤田愛, 熊谷美保, 阿部亮輔, 川村貴史, 金澤智美, 佐藤和朗, 永井成美, 三浦廣行. Comprehensive Care の理念に基づいた歯科臨床教育改革～Case Presentation による卒前教育～. 第32回日本歯科医学教育学会総会・学術大会. 2013.7.12～13 札幌
- ・田邊憲昌, 森修二, 金村清孝, 小山田勇太郎, 浅野明子, 近藤尚知: リュージュ競技スタート時における咬筋活動とパフォーマンスの関係. 第24回臨床スポーツ医学会. 2013.10.25～26 熊本
- ・藤義之, 野田守, 中居賢司: 埋込み型電子機器装着例の根管治療での問題点と対応について. 日本有病者歯科医療学会. 2013.03月. 福岡市
- ・櫻井秀人, 岡田伸男, 志賀華絵, 千葉史子, 山本楨子, 青島久, 長谷部智之, 工藤義之, 野田守, 中塚稔之: 試作 S-PRG フィラー含有常温重合レジンに関する研究. 第139回日本歯科保存学会学術大会 秋田 2013.10.17
- ・岡田伸男, 志賀華絵, 千葉史子, 野田守, 横田兼欣, 常川勝由: ナノシール塗布象牙質形成面への仮着セメントの影響およびレジン系セメントの接着力. 第139回日本歯科保存学会学術大会 秋田 2013.10.17
- ・岡田伸男, 志賀華絵, 千葉史子, 山本楨子, 青島久, 工藤義之, 野田守: ナノシール塗布後の象牙質に対する各種修復材料の接着効果. 第139回日本歯科保存学会学術大会 福岡 2013.6.27
- ・田邊憲昌, 金村清孝, 小山田勇太郎, 中村俊介, 玉田泰嗣, 浅野明子, 松田葉, 近藤尚知: ウェアラブルガジェットによる行動記録と咀嚼筋電図の関係. 平成25年度日本補綴歯科学会東北・北海道支部総会・学術大会. 2013.10.12～13 札幌
- ・小山田勇太郎, 金村清孝, 田邊憲昌, 遠藤寛, 浅野明子, 鬼原英道, 高藤恭子, 近藤尚知: 携帯筋電計によるインプラント丈夫構造破損患者の咀嚼筋活動の分析. 第123回日本補綴歯科学会学術大会 2014.5.23～25 仙台
- ・長谷部智之, 岡田伸男, 志賀華絵, 櫻井秀人, 工藤義之, 野田守: 各種象牙質面に対するナノシール塗布象牙質の接着強さ. 第140回日本歯科保存学会学術大会 滋賀 2014.6.19-20
- ・金村清孝, 田邊憲昌, 小山田勇太郎, 浅野明子, 小熊ひろみ, 福徳暁宏, 菅原志帆, 武部純, 近藤尚知: サッカー講義中のヘディング時における咬筋活動の解析. 第25回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会 2014. 6.28～29 大阪
- ・工藤義之, 岡田伸男, 熊谷啓二, 千田弥栄子, 浅野明子, 野田守, 城茂治, 永井成美, 三浦廣行: Comprehensive Care の理念に基づいた歯科臨床教育改革～臨床実習後の臨床能力評価試験～. 第33回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 2014. 7.4～5 北九州市小倉
- ・田邊憲昌, 金村清孝, 浅野明子, 近藤尚知: 日中・夜間のBruxismとインプラント上部構造破損の関係. 第27回日本顎関節学会総会・学術大会 2014.7.19～20 九州
- ・工藤義之, 櫻井秀人, 岡田伸男, 野田守, 中居賢司: 心臓植込み型電子機器装着患者の歯科治療時の安全性の検証. 日本保存歯科学会総会・学術大会 2014.10 山形
- ・吉田大徹, 深沢翔太, 斉藤裕美子, 田邊憲昌, 浅野明子, 大平千之, 武部純, 近藤尚知: CAD/CA M用ハイブリッドレジックブロックの色彩学的検討. 第26回日本歯科審美学会 2014. 11.22～23 高松
- ・菅徹也, 岡田伸男, 志賀華絵, 八木亮輔, 伊藤誠之, 赤川玄次, 長谷部智之, 櫻井秀人, 工藤義之, 野田守: 化学重合型およびデュアルキュア型接着レジンコアシステムの辺縁適合性第142回日本歯科保存学会春季学術大会. 2015.6.25～26 福岡
- ・田邊憲昌, 金村清孝, 浅野明子, 近藤尚知: スポーツ競技中のクレンチング様筋活動の分析. 第27回日本スポーツ歯科医学会総会・

- 学術大会. 2015.7.4～7.5 名古屋
- ・浅野明子, 田邊憲昌, 小林琢也, 佐々木大輔, 水川卓磨, 高橋徳明, 熊谷美保, 大川義人, 玉田泰嗣, 山田裕之, 澤田愛, 高藤恭子, 伊東俊太郎, 斉藤裕美子, 金村清孝, 野田守, 佐藤和朗, 三浦廣行: 診療参加型実習外来での3年間の患者動向. 第34回日本歯科医学教育学会総会・学術大会. 2015.7. 10～11 鹿児島
 - ・工藤義之, 櫻井秀人, 志賀華絵, 岡田伸男, 野田守, 中居賢司: 歯科用電気機器が心臓植込み型電子機器に与える電磁障害について. 第143回日本歯科保存学会秋季学術大会. 2015.12～13 東京
 - ・岡田伸男, 志賀華絵, 伊藤誠之, 菅徹也, 八木亮輔, 野田守: セラミック補修修復におけるユニバーサルタイプ接着システムの接着強さ. 第143回日本歯科保存学会秋季学術大会. 2015.12～13 東京
 - ・野田守, 岡田伸男, 千田弥栄子, 伊東誠之, 菅徹也, 八木亮輔, 浅野明子, 工藤義之, 中居賢司: 周術期口腔機能管理での大動脈狭窄症患者のリスク評価. 第25回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会. 2016.3.4～3.6 東京
 - ・伊藤誠之, 岡田伸男, 志賀華絵, 菅徹也, 八木亮輔, 工藤義之, 野田守: サーマルサイクル試験後のユニバーサルタイプ接着システムのセラミック接着強さ. 第144回日本歯科保存学会春季学術大会 宇都宮市 2016.6.9-10
 - ・工藤義之, 野田守, 中居賢司: 埋込み型電子機器装着例の根管治療での問題点と対応について. 第36回日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会 さいたま市 2016.6.11
 - ・菅徹也, 岡田伸男, 志賀華絵, 八木亮輔, 伊藤誠之, 長谷部智之, 櫻井秀人, 工藤義之, 野田守: 化学重合型およびデュアルキュア型接着レジンコアシステムの辺縁適合性. 第145回日本歯科保存学会秋季学術大会 松本市 2016.10.26-27
 - ・野田守, 千田弥栄子, 伊藤誠之, 菅徹也, 八木亮輔, 長谷部智之, 岡田伸男, 浅野明子, 工藤義之, 中居賢司: 大動脈弁狭窄症患者の口腔内歯周病菌の分布状況. 第26回日本有病者歯科医療学会 金沢市 2017. 3.5
 - ・伊藤誠之, 岡田伸男, 志賀華絵, 菅徹也, 八木亮輔, 工藤義之, 野田守: 長期保管後のユニバーサルタイプ接着システムのセラミック接着強さ. 第146回日本歯科保存学会春季学術大会, 2017/6/8, 青森市
 - ・田邊憲昌, 小山田勇太郎, 小熊ひろみ, 福德暁宏, 塚谷顕介, 浅野明子, 金村清孝, 森修二, 近藤尚知: カーリング競技中における咀嚼筋活動の分析. 第28回スポーツ歯科医学会総会・学術大会 2017.6.17～18 札幌
 - ・八木亮輔, 岡田伸男, 志賀華絵, 清水峻介, 野田守: 化学重合ボンディング材の歯質接着性. 第147回日本歯科保存学会秋季学術大会, 2017/10/26, 盛岡市
 - ・工藤義之, 野田守: 歯髄反応陽性上顎側切歯 Type III 嵌入歯に生じた急性根尖性歯周炎の非外科的歯内療法. 第10回日本総合歯科学会, 2017/11/3, 新潟市
 - ・根本章*, 清水峻介*, 青木貴晃*, 横田聖司, 帖佐直幸, 客本齊子, 加茂政晴, 櫻井秀人*, 志賀華絵*, 岡田伸男*, 浅野明子*, 野田守*, 石崎明: 歯科材料からの溶出成分がヒト間葉系幹細胞の骨芽細胞分化に与える影響. 第54回口腔組織培養学会, 2017/11/4, 盛岡市
 - ・長谷部智之, 櫻井秀人, 八木亮輔, 志賀華絵, 岡田伸男, 工藤義之, 野田守: 上顎側切歯 Type II 嵌入歯に生じた急性化膿性根尖性歯周炎の非外科的歯内療法: 第148回日本歯科保存学会春季学術大会: 神奈川: 2018.6.14-15
 - ・塚谷顕介, 田邊憲昌, 浅野明子, 近藤尚知: 患者固有の下顎運動軌跡を反映したCAD/CAMクラウンを装着した1症例. 第31回日本顎関節学会総会・学術大会 北九州市 2018.7.7～7.8
 - ・工藤義之: 医歯薬3学部合同症例基盤型ワークショップ: 第37回日本歯科医学教育学会

- 多職種連携教育委員会企画ポスターシンポジウム 多職種連携教育の導入・充実を目指して：福島 :2018.7.27-28
- ・岡田伸男, 志賀華絵, 八木亮輔, 野田 守：岩手医科大学における循環器疾患患者の周術期口腔管理について：第4回東北歯内療法学会：福島：2018.9.9
 - ・工藤義之, 野田 守：根尖部エックス線透過像を有する歯髄反応陽性上顎左右側切歯 Type II, III 陷入歯の陷入空隙消毒 (ISD)：第11回日本総合歯科学会：鹿児島：2018.10.27-28
 - ・八木亮輔, 岡田伸男, 志賀華絵, 清水峻介, 野田 守：化学重合ボンディング材の歯質接着性：第149回日本歯科保存学会秋季学術大会：京都：2018.11.1-2
 - ・工藤義之, 岸光男, 志賀華絵, 岡田伸男, 野田守, 八重柏隆, 佐藤和朗, 三浦廣行：国家試験合格のための学生への介入時期と介入対象の検討：第37回日本歯科医学教育学会 2018.7.27-28 郡山市